

2018年11月1日

循環器内科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究でデータをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】 2015年3月から当科を受診し、冠動脈疾患に対して血管内治療を受けられた方のうち、Directional Coronary Atherectomy (DCA) 後に Drug-coated balloon (DCB) 処置を受けられた患者様

【研究課題名】 DCA/DCB Registry

【研究責任者】 地方独立行政法人りんくう総合医療医療センター 循環器内科部長
武田 吉弘

【研究の目的】 DCA 治療に適する主要な分岐部、もしくは入口部病変を有する新規冠動脈病変に対して DCA を施行した部位への DCB を塗布した場合の短期及び長期の安全性および臨床的有効性を検討する。

【利用する診療情報】 診断名、年齢、性別、体重、血圧、既往歴、投薬歴、心電図、血液検査、IVUS

【外部機関への研究でデータの提供】 上記のカルテ情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

北海道 DCA Club (社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院 循環器センター内)
研究代表者 五十嵐 康巳 (時計台記念病院)

【研究期間】 倫理委員会承認日より全体で 100 症例 (当院症例予定数は 15 例)

【個人情報の取り扱い】 お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 地方独立行政法人りんくう総合医療センター
担当医師 武田 吉弘 電話 072-469-3111(代表)